

フレッシュさん こんにちは



平成27年度幸楽園のフレッシュさんは大村侑士さんです。大村君は今年専門学校を卒業後、幸清会に採用され幸楽園に配属になりました。話を聞くのは大村君のユニットで主任を務める佐々木康裕さんです。

幸楽園としては初めて男性ケアワーカーがフレッシュさんに登場です。男性ケアワーカーの需要も高まっていますので、これからの活躍に期待ですね。

佐々木：フレッシュさん企画が大好きで毎年参加しています。今年もよろしくお願いします。

大村：はい。よろしくお願いします。

佐々木：大村君がケアワーカーの仕事をしてみたいと思ったきっかけはどんなこと？

大村：はい、後期高齢者が多くなる中で、高齢者の方の手伝いをして少しでも力になりたいと思ったので志しました。

佐々木：そうなんだあ。少子高齢化が社会問題になっているからね。ちなみに子どもの頃はどんな夢があったの？

大村：子どもの頃は、プロ野球選手になりたかったです。あと消防士とか…

佐々木：野球選手ね。わかるな。僕はサッカー選手になりたかったな。幸清会を希望した理由は？

大村：幸清会という大きな法人の中でケアワーカーとして働いてみたいと思い希望しました。研修の体制などもしっかりしていると聞いていたので安心して求人に応募できました。

佐々木：採用試験はどうでした？その時の印象を教えてください。

大村：採用試験は緊張せずにリラックスした状態で臨むことができました。試験内容も難しくなく取り組みやすかったです。面接試験は面接官の人数が多くびっくりしましたが、練習通りに行うことができました。話をするなかで緊張も和らぎました。

佐々木：試験は緊張するものだからね。新人研修はどうだった？

大村：介護の基礎の部分を一から学ぶことができたので良かったです。勉強になりました。専門学校で習ったことをしっかり復習できましたし、講師を務める先生が実際に施設などで実務についている皆さんだったので、職場の雰囲気なども伝わってきました。あとは同期の人達と交流できたのも良かったです。頑張ろうという励みになりました。





佐々木：新人研修では実践で役立つことを取り上げて行うので、内容はしっかり覚えておいてね。当たり前だけど、新人研修だけでは必要な知識や技術は賄いきれないから、施設での研修にも積極的に参加してくださいね。幸楽園に配属になっての第一印象を教えてください。

大村：個人個人の暮らしがしっかりできるように取り組まれているなと思いました。

佐々木：ケアの質を良くするためにできることはたくさんあると思うので協力して一緒にやりましょう。採用から今までを振り返って感じることはありますか？

大村：覚えることが沢山あって仕事は大変ですが、入居者の方と触れ合うたびにやりがいを感じます。今後も勉強しながら頑張りたいと思います。

佐々木：仕事で心がけていることはありますか？

大村：やっぱり笑顔で接することを第一に心がけています。まだまだ出来ないことも多いですが、笑顔でいることは新人でもできると思っています。入居者の皆さんに不安を与えないためにも笑顔が大事だと思います。

佐々木：なるほど。立派な考えをしているね。笑顔は大事だね。最後にこの仕事の魅力は何だと思いますか？

大村：「ありがとう」と言われた時に一番やりがいを感じます。笑顔で感謝されるとすごく嬉しい気持ちになります。そんな笑顔をもっと増やしていけるように今後も仕事に取り組みたいです。

佐々木：大村君はいつも笑顔だもんね。誰からも話しかけやすい雰囲気を出してくれているので入居者の皆さんはもちろん、職員も安心して話しかけることができるんじゃないかな。同じユニットだからこれからも一緒に頑張ろうね。今日はありがとうございました。



【特別養護老人ホーム幸楽園】

北海道虻田郡洞爺湖町清水 434 番地

ふる里の丘総合福祉館 2階・3階

電話：0142-76-4309